

長寿延命・後生安楽祈願
四国八十八ヶ所、心の巡礼を織り描く

心の旅路

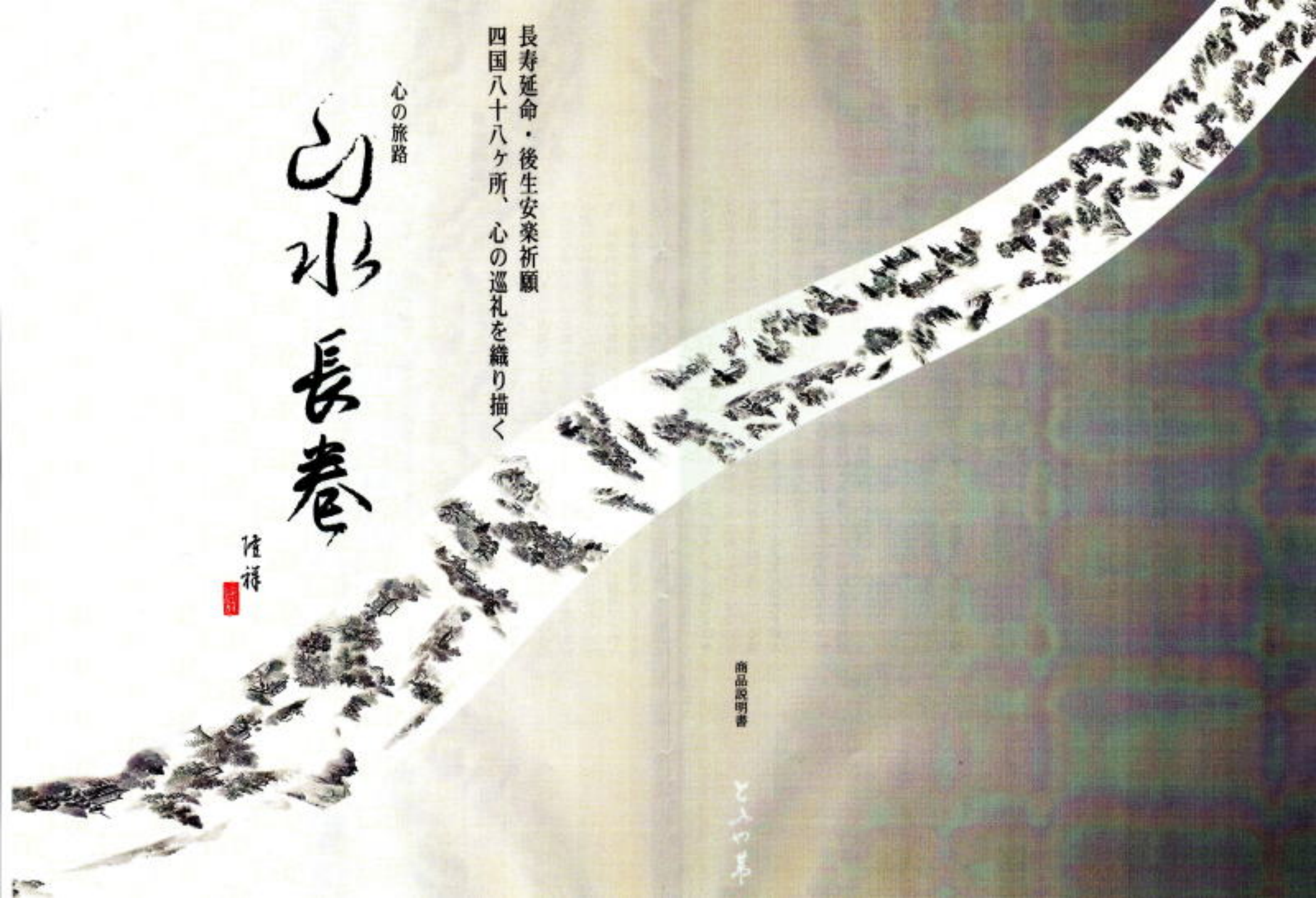
山水長巻

陸祥



商品説明書

とらのあな



四国八十八力所

四国霊場八十八力寺巡り



阿波(徳島県)	土佐(高知県)	伊予(愛媛県)	讃岐(香川県)
1 竺和山 一乘院 雲山寺	24 室戸山 明星院 最御崎寺	40 平城山 薬師院 観自在寺	66 巨龍山 千手院 雲辺寺
2 日照山 無量寿院 極楽寺	25 宝珠山 真言院 津原寺	41 稻荷山 護国院 龍光寺	67 小松尾山 不動光院 大興寺
3 龜光山 釈迦院 金泉寺	26 龍頭山 光明院 金剛頂寺	42 一環山 毘盧舎那院 仏木寺	68 七宝山 神恵院
4 黒巖山 遍照院 大日寺	27 竹林山 地藏院 神峯寺	43 源光山 円手院 明石寺	69 七宝山 観音寺
5 無尽山 荏蕨院 地藏寺	28 法界山 高照院 大日寺	44 菅生山 大覚院 大宝寺	70 七宝山 持宝院 本山寺
6 温泉山 瑠璃光院 安楽寺	29 摩尼山 宝蔵院 国分寺	45 海岸山 岩屋寺	71 剣五山 千手院 弥谷寺
7 光明山 蓮華院 十楽寺	30 百々山 東明院 善楽寺	46 医王山 養珠院 淨瑠璃寺	72 我拝師山 延命院 曼荼羅寺
8 普明山 真光院 熊谷寺	31 五色山 金色院 竹林寺	47 熊野山 妙見院 八坂寺	73 我拝師山 求聞持院 出釈迦寺
9 正覚山 菩提院 法輪寺	32 八雲山 求聞持院 禪師峰寺	48 清滝山 安養院 西林寺	74 医王山 多宝院 甲山寺
10 得度山 灌頂院 切幡寺	33 高福山 雪隠寺	49 西林山 三蔵院 浄土寺	75 五岳山 誕生院 善通寺
11 金剛山 一乘院 藤井寺	34 本尾山 朱雀院 権問寺	50 東山 瑠璃光院 繁多寺	76 鷺足山 宝幢院 金倉寺
12 摩羅山 性寿院 焼山寺	35 医王山 鏡池院 清滝寺	51 熊野山 虚空蔵院 石手寺	77 桑多山 明王院 道隆寺
13 大栗山 花蔵院 大日寺	36 独結山 伊舎那院 青龍寺	52 瀧雲山 護持院 太山寺	78 仏光山 広徳院 徳照寺
14 盛寿山 延命院 常楽寺	37 藤井山 五智院 岩本寺	53 須賀山 正智院 円明寺	79 金華山 高原院 天皇寺
15 薬山 金色院 国分寺	38 越蛇山 補陀洛院 金剛指寺	54 近見山 宝幢院 延命寺	80 白牛山 千手院 国分寺
16 光耀山 千手院 観音寺	39 赤龜山 寺山院 延光寺	55 別宮山 金剛院 南光坊	81 綾松山 洞林院 白峯寺
17 瑠璃山 真福院 井戸寺		56 金輪山 勅王院 泰山寺	82 峰山 千手院 根香寺
18 母養山 宝樹院 恩山寺		57 府頭山 無量寿院 栄福寺	83 神毫山 大宝院 一宮寺
19 横池山 摩尼院 立江寺		58 作礼山 千光院 仙遊寺	84 南面山 千光院 鳳凰寺
20 霊鷲山 宝珠院 鶴林寺		59 金光山 最勝院 国分寺	85 五剣山 観自在院 八栗寺
21 舎心山 常住院 太龍寺		60 石鉢山 福智院 横峰寺	86 補陀洛山 清浄光院 志度寺
22 白水山 医王院 平等寺		61 柳窪山 教王院 香園寺	87 補陀洛山 観音院 長尾寺
23 医王山 無量寿院 薬王寺		62 天養山 観音院 宝寿寺	88 医王山 遍照光院 大窪寺
		63 密教山 胎蔵院 吉祥寺	
		64 石鉢山 金色院 前神寺	
		65 由雲山 慈尊院 三角寺	

高野山 壇上伽藍園

定道隆祥筆

1 奥の院弘法大師御廟

ありがたや たかののやまの いわかげに
だいしほいまに おはします

2 金剛三昧院

3 総本山金剛峯寺

4 根本大塔
金堂

5 大門



長寿延命・後生安樂祈願
四国八十八ヶ所、心の巡礼を織り描く

心の旅路

『山水長卷』

定道隆祥筆



四国八十八ヶ所巡礼とは平安時代に空海（弘法大師）が四国の地において修行を重ねた霊跡を札所と呼び、弘法大師と共に全ての札所十数箇所の道のりを巡拝することによって現世御利益、長寿延命、往生安楽が願われるものです。阿波の国を起点の道場といひ二十三ヶ寺、土佐の国は修行の道場十六ヶ寺、伊予の国は菩提の道場二十六ヶ寺、讃岐の国は涅槃の道場二十三ヶ寺、全て合わせて八十八ヶ寺、三百里を越える長途の旅を遂して、八十八の煩惱をとりぞき、八十八の功徳をもちますといわれます。

弘法大師は一本の金剛杖によって常に道場を見守り、八十八ヶ所の結願へと導いてくださいます。

その起りには今昔物語や保元物語にも伝えられており、平安末期から南北朝にかけて十代に日本各地から多くの人々が巡礼におとずれていたといわれています。以来今日まで二百年にもわたり老若男女世代を越えてたのやすらぎを求めて参拝に訪れる人々がたえません。

この帯は、作家定道隆輝が古来より庶民に親しまれてきたこの四国八十八ヶ所の札所全てを入魂の筆により墨跡鮮やかに描いた水屋八十八ヶ所画を京都西陣特製の杖をもって一条の帯に織り上げました。

帯は古来よりお返し物を結ぶだけでなく、「縁を」「長く」「結ぶ」ものとして大切にされてまいりました。

八十八ヶ所巡り満願の因縁の意と相まって、ご参用賜る皆様の心が水木くみり満たされる帯となるべく誠意こめて創作致し、ここに謹んでお届け申し上げます。

第一番 ・ 竺和山 霊山寺 (一乘院)

しやくわざん りゆうざんじ
雲山の釈迦の御所に巡り、よりずの罪も消え去せにけり

第二番 ・ 日懸山 極楽寺 (無量寿院)

にじしやうざん ぎよくらくじ
極楽の兜院の浄土へ行きたくは

第三番 ・ 龜光山 金泉寺 (釈迦院)

かめこうざん きんせんじ
南無阿弥陀仏口ぐせにせよ

第四番 ・ 黒藏山 大日寺 (遍照院)

くろざん たいにちじ
黄金の泉すみたたえ

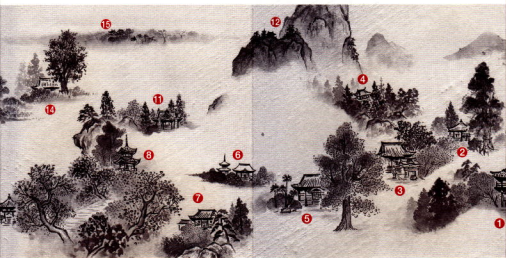
第五番 ・ 無尽山 地藏寺 (莊嚴院)

むじんざん じやうじ
六道の難念の地獄大菩薩 導きたまへこのきらの世

第六番 ・ 温泉山 安楽寺 (瑠璃光院)

おんすゐざん あんらくじ
かりのせに知行せう救世なり

安楽山の空理も安のよ



第七番
・光明山十樂寺 (蓮華院)

人間の八苦を早く離れなほ
則ちみ方は九苦十樂

第八番
・普明山熊谷寺 (真光院)

將じり水熊谷の寺に表す
難行するも後のきのため

第九番
・云霓山法輪寺 (菩提院)

大衆のむらもがもむらむら
法輪の縁とてささげ

第十番
・得度山切幡寺 (灌頂院)

秋心をただ一路に切幡寺
後のきまでの障りとぞなる

第十一番
・金剛山藤井寺

色も香も兼北中道の藤井寺
真如の波のたため日もなし

第十二番
・摩廬山燒山寺 (性寿院)

秋の物を過まは摩廬燒山寺
死生や三途の難所ありとも

第十三番
・大栗山大日寺 (花藏院)

阿波の國一の宮とはゆうだすき
かけて眺めやこの世のちの世

第十四番
・盛寿山常樂寺 (延命院)

常樂の舟にはいつか別れまし
風聲の船に乗りかくれすば

第十五番
・薬王山因分寺 (金色院)

うすく濃くわけわけ色を染めぬれば
流転生死の秋の紅葉ば

第十六番
・光耀山観音寺 (千手院)

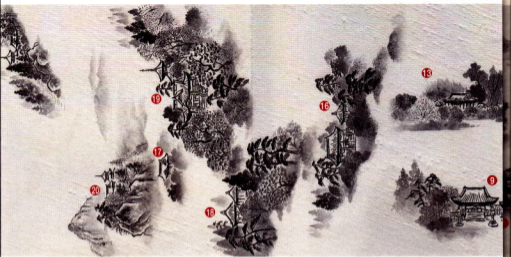
忘れずも藤きたま観音寺
西方世界兜院の神主へ

第十七番
・瑠璃山井戸寺 (真福院)

瑠璃をうつしてみれば井戸の水
結べば胸の場や成らん

第十八番
・母養山恩山寺 (宝樹院)

子を生の母の父母の恩山寺
結らいたがたことほあらじな



第十九番・橋池山 五江寺 (摩尼院)

いづかて西の住居のわが五江
臥雲の共に暮らしていたらん

第二十番・霊鷲山 鶴林寺 (宝珠院)

ひらけしるべん
しげりつる鶴の林をしのべにて

第二十一番・舎心山 太龍寺 (常住院)

たいりゅうじ
大龍寺いまだ地蔵堂あり

第二十二番・白水山 平等寺 (医王院)

びやくすいざん
平等にへだてのなきと聞くは

第二十三番・医王山 薬王寺 (無量寿院)

いおうざん
みづ人のぬみぬる空の薬王寺

第二十四番・室戸山 最御崎寺 (明星院)

むろとざん
明星の出でぬる方の東寺

第二十五番・宝珠山 津照寺 (真言院)

ほうじゅうざん
法の船入るか出するかこの津寺

第二十六番・龍頭山 金剛頂寺 (光明院)

りゅうずん
住生にまみをかくる極楽は

第二十七番・竹林山 神峯寺 (地藏院)

しんりんざん
みはどけの煮みの地神峯

第二十八番・法界山 大日寺 (高懸院)

ほっかいざん
鹿角と雲を映らせる大日寺

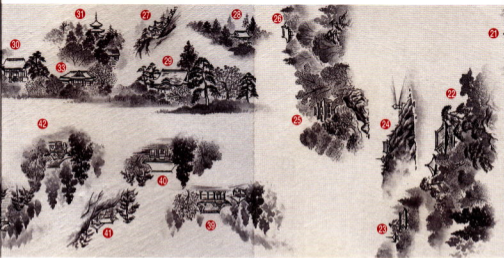
第二十九番・摩尼山 因分寺 (宝蔵院)

まにざん
因を分け家を構みて建つ寺の

第三十番・百々山 善樂寺 (東明院)

ひやくざん
人多く立ち集まれる一の宮

昔も今も集まぬのか



第三十番・五台山竹林寺(金色院)

南無文殊三尊の私の母と聞く
我が子なれば乳二ほほしけれ

第三十二番・八葉山禪師峰寺(求聞持院)

静かなるわがみなもの経船寺
浮かぶは法の聖船

第三十三番・高福山雪蹠寺

佛の理えし今は高福寺
のらたのしみ有明の月

第三十四番・本尾山種間寺(朱雀院)

世の中にもける五穀のたねまき
深き如來の大地なりけり

第三十五番・医王山清滝寺(鏡池院)

深き水を流せば此の清滝寺
波の花散る舟の羽衣

第三十六番・独鈷山青龍寺(伊舍那院)

わすかなる泉にすめる青龍は
仏法守護の誓いと平閑く

第三十七番・藤井山岩本寺(五智院)

六つのもちり五つの社あらわして
深き仁井田の神のたのしみ

第三十八番・暖陀山金剛福寺(補陀落院)

補陀落やこは剛の船の神
どるも捨つるも法の難陀山

第三十九番・赤龜山延光寺(香山院)

南無渡御高懸除の願こめず
語るわが身も助けまします

第四十番・平城山親自在寺(薬師院)

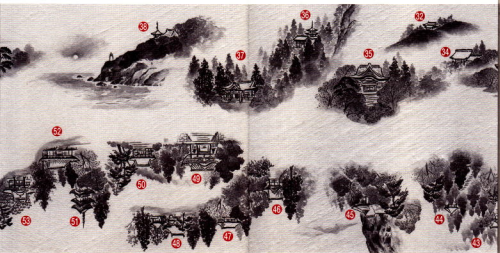
北嶺や白雲の春に花実とて
浮世のがれて住むやけだもの

第四十一番・稲荷山龍光寺(護国院)

この神は三國渡舟の船長と
寺り給わん誓いと牙閑く

第四十二番・一塚山仙木寺(毘盧遮那院)

草木も私にされる仏木寺
女お頼もしき鬼窟人天



第四十三番 源光山 明石寺 (円手院)

源光山は、平徳院には、大徳者もかくあけ石

第四十四番 菅生山 大宝寺 (大寛院)

今の世は大徳のめぐみ菅生山、ついでには源光の誓いを持つ

第四十五番 海岸山 岩屋寺

大徳の祈る力のげに岩屋、石のなかにも極楽寺ある

第四十六番 医王山 津瑠璃寺 (養珠院)

福美の津瑠璃寺、くろくろくは、受くる巻巻は頼いならん

第四十七番 熊野山 八坂寺 (妙見院)

花多見了歌詠人は八坂寺、三仏じょうの縁と、まきりけ

第四十八番 清滝山 西林寺 (安養院)

源光の世を歩む行きたるは、西の林の寺に掛れよ

第四十九番 西林山 浄土寺 (三蔵院)

十徳の教を歩むすそのまに、浄土の寺へまいるよすれ

第五十番 東山 繁多寺 (瑠璃光院)

よろずよまき多なりとも、諸病なかれと安み祈れよ

第五十一番 熊野山 石手寺 (虚空蔵院)

西の方まきまきとは、まじりて安んじ、寺に降りて受くる十衆

第五十二番 瀧雲山 太山寺 (護持院)

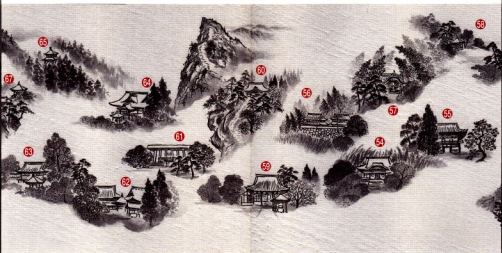
太山へのばれば、汗のいて、何の世もよば何の寺もなし

第五十三番 須賀山 円明寺 (云智院)

表裏の光院の光の円明寺、降りまきり影は、次を及ぶ月

第五十四番 近見山 延命寺 (宝鏡院)

くもりなき鏡の輝きが、つれづれに、幾や影もうつすものかな



第五十五番・別宮山 南光坊

このところ三跡に夢のさめれば
別宮とても同じ世途

第五十六番・金輪山 泰山寺 (勅王院)

衆僧の引奉たのみおきつつ
衆僧は人を敬う路陀仏

第五十七番・府頭山 采福寺 (無量寿院)

この世には巧み寺を八幡なり
衆僧は人を敬う路陀仏

第五十八番・作礼山 仙遊寺 (千手院)

衆僧祈りて作礼の堂にやすみつつ
六客を唯々縁を流しべし

第五十九番・金光山 因分寺 (最勝院)

守護のため建ててあがじる因分寺
いよよめがむ藤柳なりけり

第六十番・石鉄山 横峰寺 (福智院)

たづねに峰や山頂に寺たてて
あまねく人を敬うものかな

第六十一番・梅檀山 香園寺 (教王院)

土のせを流えはぬれ春園寺
土めて止まらぬ白雲の水

第六十二番・天養山 宝寿寺 (観音院)

さみだれのあとにたてたる玉の井は
白雲なるや一の宮かほ

第六十三番・密教山 吉祥寺 (胎藏院)

衆のうらみの無しき胎藏をらすす
六の吉祥を堂か所れよ

第六十四番・石鉄山 前神寺 (金色院)

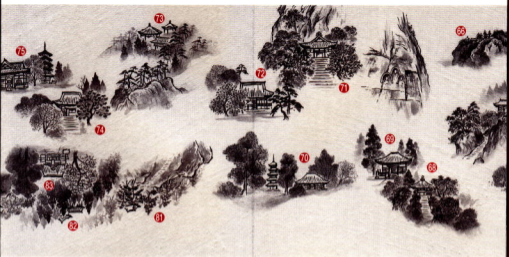
時ほ神うらほは仏極楽の
よろずの真をもたないしつら

第六十五番・由霊山 三角寺 (慈尊院)

おそろしや三つの角にもなるをば
此をまろく無常を命とす

第六十六番・巨魁山 雲辺寺 (千手院)

はるばると雲のはじりの寺に飛て
月日は今もはらにぞ見る



第六十七番 ・小松尾山 大興寺 (不動光院)

横えりき小松尾寺を眺むれば
法の教えの風を吹さぬる

第六十八番 ・七宝山 神恵院

第の音も松吹く風を強くも
歌うも難うも法のこゝろを

第六十九番 ・七宝山 観音寺

観音の天鳥の力強ければ
おもしろきも引もあけずたへ

第七十番 ・七宝山 本山寺 (持宝院)

本山に蓮か懸えける松なれば
春こそ手折れ手折りに平なる

第七十一番 ・剣五山 弥谷寺 (千手院)

衆人で行も通れなんも衆客寺
ただかりやめもよも是年よき

第七十二番 ・我拝師山 曼荼羅寺 (延命院)

わすかにとも曼荼羅おけ人はたは
ふたたびみたびかえらざらまし

第七十三番 ・我拝師山 出釈迦寺 (求聞持院)

遠いぬる六道衆生わんと
華き山に出づる釈迦寺

第七十四番 ・医王山 甲山寺 (多宝院)

おのれとたかふと山かな
十二神地方にもてる院には

第七十五番 ・五岳山 善通寺 (誕生院)

われ住まばよも消えはてす善通寺
深き誓いの法のどころし

第七十六番 ・鶴足山 金倉寺 (宝幢院)

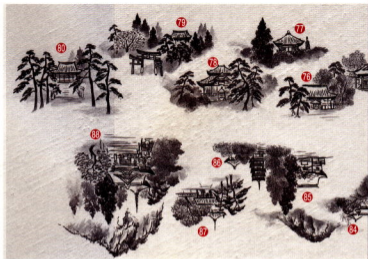
異言加持の不思議なりけり
まごにも神仏僧を聞ければ

第七十七番 ・桑多山 道隆寺 (明王院)

甚哉の月を足すはほしに
頼いとは仏菩薩に入りはす

第七十八番 ・仏光山 御題寺 (広徳院)

拍子とすのうを打つなり
御題の月を足すはほしに



第七十九番

金峯山 天叡寺 (高懸院)

十歳の洋世の中をたずねて
天皇さまももてし、すある
天宮さまももてし、すある

第八十番

白牛山 國分寺 (千手院)

圓を分け野山をしのぎ寺かに
まかれる人を助けましませ

第八十一番

綾松山 白峯寺 (洞林院)

御名をもひつる法のこころえ
御名をもひつる法のこころえ

第八十二番

青峰山 根香寺 (千手院)

宮の間のたゞなる箱の消えのれば
あびこまぬの影の行の声

第八十三番

神臺山 一宮寺 (大宝院)

撰成一宮の御所に侍りて
神の光を照かししゆら

第八十四番

南面山 屋島寺 (千光院)

神の光を照かししゆら
神の光を照かししゆら

第八十五番

五剣山 八栗寺 (観自在院)

精進を興の智火にて八栗をば
修行者ならて誰か知るべき

第八十六番

補陀洛山 志度寺

遊りの声を耳にふれつつ
遊りの声を耳にふれつつ

第八十七番

補陀洛山 長尾寺 (観音院)

秋の夜すがら物名を唱えよ
秋の夜すがら物名を唱えよ

第八十八番

医王山 大窪寺 (遍照光院)

南無衆神諸佛なれど願いつつ
誰れる人は大窪の寺

隆祥

